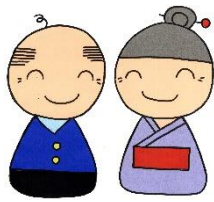


令和3年度 事業報告書



社会福祉法人 幸 寿 会

特別養護老人ホーム清風苑（長期入所）
特別養護老人ホーム清風苑（短期入所）
深谷市デイサービスセンター清風苑
清風苑在宅介護支援センター
グループホームすずかけ
生計困難者に対する相談支援事業

〒369-1105 埼玉県深谷市本田 4915 番地 1
TEL048-583-5555 FAX048-583-7257
E-mail info@seifuuen.com URL <https://seifuuen.com/>

*** 目 次 ***

はじめに・運営の理念・事業方針	2
令和3年度の主な庶務事項	3
特別養護老人ホーム清風苑 (介護老人福祉施設) (介護予防)短期入所生活介護 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	8
深谷市デイサービスセンター清風苑 (介護予防)通所介護 総評、業務目標、委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	16
清風苑在宅介護支援センター (居宅介護支援事業者)	22
深谷市在宅介護支援センター清風苑 (在宅介護支援センター) 総評、業務目標、各会議、研修・会議の参加状況、業務報告、 利用者状況	26
グループホームすずかけ (認知症対応型共同生活介護) 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	26
生計困難者に対する相談支援事業 総評、相談状況、研修・会議の参加状況	32
事務 総評、業務目標、研修・会議の参加状況	34
給食 総評、業務内容、研修・会議の参加状況	35

はじめに

昭和62年6月に社会福祉法人幸寿会が設立され35年を迎えます。措置から介護という制度に移行し、当時とは制度も環境も大きく変わりました。私見ですが、時代のせいが高齢者に対して介護者の接し方も色々と変わったように思います。しかしながら、設立時の「困っている人をなんとかしたい」という思いは貫き、伝え、共有していくことが重要だと思っています。

さて、令和3年度は介護保険制度の改定年として対応をしています。柱の一つである科学的介護 LIFE について、データ提出は実施していますがフィードバック情報の有効活用については現状暫定情報であり、難しい所があるようです。また、3年間の猶予付きである口腔衛生の運営基準対応については、令和4年度から調整して実施となります。この他の加算関係については、現状できる範囲での申請を完了しています。

旧年度からの課題である収支改善策では、デイサービスの現利用者数に見合った職員配置と清風苑のマンパワー充足として、人事異動を行いました。あわせて法人全体として障害者雇用と高齢者の就業機会確保に取り組んでいます。また、法人職員数の増加によって産業医の配置と衛生会議の開催が必要になり、勉強会やストレスチェックを実施することで就業環境の振り返りの場としました。

さらに各サービスの役割の見直しとして、グループホームすずかけの重度利用者を適正な時期に特別養護老人ホームへ案内することや特別養護老人ホーム入所希望者でショートステイの長期利用受け入れを行うことで各サービスの活動や利用率の安定に努めています。

各サービスのすべての活動は、「まず新型コロナウイルス感染症予防対策の範囲で」という事になりました。計画が大きく出遅れたショートステイ棟増床分の受入れは6月から始まりましたが、残念なことに7月中旬から約1か月半の間、清風苑で発生した新型コロナウイルス感染症の対応にて受入れ制限を行い、デイサービスにも若干の影響を与えることとなりました。そして、職員配置と定着の影響で職員紹介手数料も増額となるなど、今年度も厳しい収支となってしまいました。そこで、運営会議にて「利用率の安定」と「職員の定着」について課題と策の理解と共有をし、「安定した運営」「安心できる利用者支援」の実現から繋がる「職員処遇改善」を目指しています。

運営の理念

「私たち職員は利用者の尊厳を守り

気づきの姿勢により一人ひとりの望まれる生活を大切にし

地域福祉の向上のため貢献します」

～幸寿会のこころ

- 一、利用者にも明るく接し、“安心”される介護をします
- 二、介護と看護の技術を磨き“安全”な生活を守ります
- 三、地域と連携し高齢者福祉の“発展”に努めます
- 四、職員が協力し“信頼”される幸寿会を築きます

事業方針

- 一、人命人権を尊重した業務の研鑽を行う
- 二、日常業務の改善と地域ニーズを考えた事業を展開する
- 三、環境に配慮した業務改善を行なう
- 四、職員教育とチームワークを充実する（言葉、接遇、技術）
- 五、働きやすい職場作りと待遇改善に努める

令和3年度の主な庶務事項

3. 4. 1 辞令交付式
4. 1 施設賠償責任保険更新（あいおい損害保険㈱）
4. 1 役員賠償責任保険（あいおい損害保険㈱）
4. 1 掃除・洗濯・夜間施設管理請負契約締結（清風苑：深谷市シルバー）
4. 1 夜間施設管理請負契約締結（清風苑：寄居町シルバー）
4. 1 広報「清風」第35号発行
4. 1 産業医委嘱契約書締結（はらしま医院・原島規吉）
4. 5 ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書提出
(北部環境管理事務所)
4. 7 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出（大里広域）
4. 9 退職手当共済R3年度掛け金納付対象職員提出6名（福祉医療機構）
4. 10 スプリンクラー逆止弁交換工事（特養：田部井建設㈱）
4. 12 介護職員処遇改善計画書・介護職員等特定処遇改善計画書提出（埼玉県）
4. 12 介護職員処遇改善計画書・介護職員等特定処遇改善計画書提出（大里広域）
4. 12 老人福祉施設指導台帳提出（特養：県監査課）
4. 19 衛生管理者選任報告提出（熊谷労基署）
4. 19 産業医選任報告提出（熊谷労基署）
4. 20 ウッドデッキ塗装・補修工事（すずかけ：榎本サービス）
4. 25 介護ロボット使用状況報告書提出（特養・センサーマット①：高齢者福祉課）
4. 25 介護ロボット使用状況報告書提出（特養・センサーマット②：高齢者福祉課）
4. 25 介護ロボット使用状況報告書提出（特養・マッスルスーツ：高齢者福祉課）
4. 26 社会福祉施設従事者相互保険更新手続（福祉振興・試験センター）
4. 26 スプリンクラーヘッド交換工事（特養：田部井建設㈱）
4. 26 居室「もも」換気扇交換工事（特養：田部井建設㈱）
4. 27 新型コロナウイルス対策のための手袋配布（特養・デイ・すずかけ：市長寿福祉課）
5. 1 カーテン保守契約締結（デイ：キングラン商事㈱）
5. 9 厨房他の害虫駆除実施（特養・デイ・すずかけ：(株)ビルワーク）
5. 10、5. 27、6. 9、6. 22、7. 5、7. 23 高齢者施設職員に対するPCR検査実施
(全職員・委託業者：埼玉県)
5. 12 消防設備等（総合：清風苑）（機能：デイ・すずかけ）定期点検実施
(株)ビルワーク)
5. 12 自家用電気工作物の年次検査実施（日本テクノ）
5. 18 埼玉県新型コロナウイルス感染症対策優良施設認証申請書提出
(埼玉県：特養・すずかけ)
5. 22 配膳台車購入（短期：(株)トータルサポート）
5. 22 監事の監査実施
5. 24 軽自動車税減免申請（深谷市：3. 6. 15 市税減免通知）
5. 24 自動車税減免申請（埼玉県自動車県税事務所：3. 8. 30 県税減免通知）
6. 8 埼玉県社会福祉事業共助会総会委任状提出56名（埼玉県社会福祉事業共助会）
6. 12 令和3年経済センサス活動調査提出（総務省・経済産業省）
6. 3 第129回理事会（事業報告、決算報告、社会福祉充実残額と社会福祉充実計画、役員改選、評議員選任・解任委員の選任、評議員の改選、高額取引の入札除外、ストレスチェック制度実施規程、定時評議員会の日時・開催場所・議題の決定）
6. 3、6. 17、7. 1、7. 15、7. 29 以降は週1回実施 高齢者施設職員に対するPCR検査実施
(全職員・委託業者：日本財団)
6. 7～29 職員定期健康診断
6. 8 第3回評議員選任・解任委員会（評議員の選任）

- 6.16 利用者健康診断(特養・すずかけ：メディカルセンター)
- 6.16 自動車保険契約 (JA ふかや)
- 6.18 コールセンサーマット購入5セット(特養：(株)ヘルスケア上武)
- 6.19 第70回評議員会(事業報告、決算報告、社会福祉充実残額と社会福祉充実計画、役員改選、評議員選任・解任委員の選任、評議員の改選、高額取引の入札除外、ストレスチェック制度実施規程)
- 6.19 第129回理事会(理事・監事の委嘱と理事長の選定)
- 6.22 浴槽水の水質検査(清風苑・デイ：(株)熊谷環境分析センター)
- 6.23 総合防災訓練(全事業)
- 6.25 電子開示システム現況報告提出
- 6.26 労働保険概算確定保険料申告書提出(電子申請)
- 6.28 食器購入(短期：(株)トータルサポート)
- 6.28 資産の変更登記申請完了・理事長の変更登記完了(さいたま地方法務局)
- 6.30 賞与支払い届提出(日本年金機構)
- 7. 2 高年齢者雇用状況報告書提出(ハローワーク熊谷)
- 7. 3 算定基礎届提出(日本年金機構)
- 7. 3 賞与支払届決定通知受理(日本年金機構)
- 7. 4 ノンワックス床清掃(特養：食堂、廊下、脱衣室：(株)ビルワーク)
- 7. 5 高齢者入所施設におけるワクチン接種状況等について回答(特養・すずかけ：埼玉県)
- 7. 5~15 新型コロナウイルスワクチン接種(1回目)(利用者・職員)
- 7. 6 新型コロナウイルス対策のための手袋配布(特養・デイ・すずかけ：市長寿福祉課)
- 7. 6 クラスターの発生に備えた互助ネットワークの登録(特養：県高齢福祉課)
- 7. 6 車イス5台、リクライニング車イス3台購入(特養：ひまわり館)
- 8. 7 新型コロナウイルス感染対応終息(感染者利用者3名、職員3名)(特養)
- 7. 8 社会福祉法人役員変更届・社会福祉法人評議員変更届提出(深谷市)
- 7. 9 性的少数者が働きやすい職場づくりに関するアンケート回答(深谷市)
- 7.10 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 7.12 新型コロナウイルス感染者発生(特養)
- 7.18 新型コロナウイルス感染対応チーム COVMAT 来苑指導(埼玉県)
- 7.20 算定基礎届決定通知受理(日本年金機構)
- 7.23 特定給食施設等栄養管理状況報告書提出(清風苑・デイ：熊谷保健所)
- 7.26~8.17 新型コロナウイルスワクチン接種(2回目)(利用者・職員)
- 7.27 公益法人の収支計算書(令和2年度)の提出書提出(熊谷税務署)
- 7.29 令和2年度介護職員処遇改善加算実績報告書受付
(特養・短期・デイ：北部福祉事務所)
- 7.29 令和2年度介護職員処遇改善加算実績報告書受付
(すずかけ・デイ総合事業：大里広域)
- 7.30 定期健康診断報告書提出(清風苑入所者：熊谷保健所)
- 8. 1 広報「清風」第36号発行
- 8.13 特別養護老人ホーム実態調査提出(県高齢者福祉課)
- 8.16 エブリイワゴンボディコーティング(特養：坂田自動車工業(株))
- 8.18 新型コロナウイルスワクチン接種報告書提出(深谷市保健センター)
- 8.18 PCB(コンデンサ)撤去・処分(特養：田部井建設(株))
- 8.27 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(看護体制加算取下げ)
(特養：北部福祉事務所)
- 8.28 新型コロナウイルス感染者(クラスター発生施設)に関する情報について回答
(特養：県高齢者福祉課)
- 9. 3 高齢者施設・事業所の業務継続計画(BCP)の策定状況調査について回答
(県高齢者福祉課)
- 9. 7 共助会標準報酬基礎届(埼玉県社会福祉事業共助会)

- 9. 7 骨折事故報告書提出 2 件 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 9. 7 骨折事故再発防止策報告書提出 2 件 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 9. 7 感染症(新型コロナウイルス)事故報告書提出 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 9. 7 感染症(新型コロナウイルス)事故再発防止策報告書提出
(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 9. 7 埼玉県新型コロナウイルス感染症対策優良施設認証制度による優良施設の認証通知
(特養・すずかけ：県高齢者福祉課)
- 9.11 通所介護事業所におけるワクチン接種状況等について回答(県高齢者福祉課)

- 9.14 感染状況報告書(見舞金申請) 提出(特養：県老協)
- 9.18 居室「もも」エアコン交換工事(特養：(有)ヤジマメンテナンス)
- 9.22 新型コロナウイルス感染症対策としてのテレワーク実態調査回答
(県：多様な働き方推進課)

- 10. 1 介護ソフトワイズマンリース更新
(特養・デイ・支援：(株)大塚商会)
- 10. 1 産業廃棄物(オムツ)収集運搬業務委託契約書(特養：(株)小嶋衛生社)
- 10. 1 一般廃棄物(オムツ)収集運搬業務委託契約書(特養：(株)小嶋衛生社)
- 10. 1 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出 (大里広域)
- 10. 1 介護サービス施設・事業所調査回答(すずかけ：厚生労働省)
- 10. 2 介護サービス施設・事業所調査回答(特養・短期：厚生労働省)
- 10. 5 共助会標準月額決定通知受理(埼玉県共助会)
- 10. 7 第 131 回理事会 (給与規程改定、第 1 次補正予算、評議員会の日時・開催場所・議題の決定、報告事項)
- 10. 9 外灯電球交換工事(特養・デイ・すずかけ：(株)吉田電気工事)
- 10.12 高齢者の身元保証等に関する調査回答(特養：総務省)
- 10.13 令和 3 年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業申請 (特養：埼玉県)
- 10.17 第 71 回評議員会 (給与規程改定、第 1 次補正予算、報告事項)
- 10.18 電子開示システム現況報告再提出
- 10.22 介護事業実態調査回答(すずかけ：厚生労働省)
- 10.24 骨折事故報告書提出 3 件 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 10.24 骨折事故再発防止策報告書提出 3 件 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 10.25 実地指導監査(特養・デイ：埼玉県・深谷市)
- 11. 7 受水槽定期清掃 (清風苑・(株)ビルワーク)
- 11. 7 受水槽定期清掃 (デイ：(株)ビルワーク)
- 11.10 消防設備等 (機能：清風苑) (総合：デイ・すずかけ) 定期点検実施
(株)ビルワーク)
- 11.11 職員定期健康診断(深谷寄居医師会メディカルセンター)
- 11.11 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の処分終了届出書提出(北部環境管理事務所)
- 11.12 浄化槽原水ポンプ交換工事(特養：エコサービス(株))
- 11.12 防災訓練(デイ) 深谷消防職員指導
- 11.12 浄化槽定期清掃実施 (小嶋衛生社)
- 11.14 厨房他の害虫駆除実施 (清風苑・デイ・すずかけ：(株)ビルワーク)
- 11.17 新型コロナウイルス対策のための手袋配布(特養・デイ・すずかけ：市長寿福祉課)
- 11.18~12.16 職員インフルエンザ予防接種実施
- 11.29 骨折事故報告書提出 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 11.29 骨折事故再発防止策報告書提出 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 11.29 中間浴修理(デイ：(株)ヘルスケア上武)
- 11.30 食事サービス提供業務委託契約書締結(特養・デイ：日清医療食品(株))
- 12. 8 夜間通報訓練(全事業所)

- 12.11 賞与支払い届提出(電子申請)(日本年金機構)
- 12.15 賞与支払届決定通知受理(日本年金機構)
- 12.15 職員駐車場修繕工事(特養:埼玉朝日園)
- 12.20 浄化槽ブローア配管工事(特養:田部井建設㈱)
- 12.23 誘導灯交換工事(特養:田部井建設㈱:)
- 12.28 心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書提出(熊谷労基署)
- 4.1.11 玄関自動ドア改修工事(特養:富士自動ドア埼玉㈱)
- 1.12 令和3年度医療機能情報定期報告回答(特養:熊谷保健所)
- 1.12 特別養護老人ホーム等の施設及び配置医師の状況等について回答
(埼玉県保健医療部)
- 1.14 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 1.14 令和3年度介護サービス事業所・施設における感染防止対策支援事業補助金申請
(全事業所:埼玉県)
- 1.16 介護老人福祉施設等令和2年度(決算分)収支状況等調査回答(全国老施協)
- 1.24 令和3年度ブロック塀等の安全対策状況及び非常用自家発電設備の整備に関する調査回答(特養:県高齢者福祉課)
- 1.30 厨房給湯配管修理工事(特養:(有)ヤジマメンテナンス)
- 2.1 変更届出書提出(特養:ケマネ変更:北部福祉事務所)
- 2.8 簡易専用水道管理検査実施(埼玉県環境検査研究協会)
- 2.15~3.10 新型コロナウイルスワクチン接種(3回目)(利用者・職員)
- 2.18 令和3年度介護サービス事業所・施設における感染防止対策支援事業補助金交付決定及び確定通知(全事業所:埼玉県)
- 2.22 浄化槽法定検査実施(埼玉県浄化槽協会)
- 2.24 令和3年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業交付決定及び確定通知(特養:埼玉県:846,000円)
- 2.25 新型コロナウイルス感染症発生時の協力医療機関・嘱託医の現状調査について回答(特養:県老施協)
- 3.7 定期健康診断報告書提出(職員:熊谷保健所)
- 3.8 防災訓練(すずかけ)深谷消防職員指導
- 3.8 36協定届(熊谷労基署)
- 3.9 定期健康診断結果報告書提出(熊谷労基署)
- 3.14 清拭布貸与契約書(特養・デイ:(有)関東ベビーランドリー)
- 3.17 第132回理事会(第2次補正予算、事業計画、予算、給与規程の改定、契約職員・パートタイム職員就業規則の改定、グループホームすずかけ職員給与規程の改定、育児・介護休業等に関する規則の改定、役員賠償保険変更、理事長専決事項報告、評議員会の日時・開催場所・議題の決定)
- 3.19 抗原検査キットの配布希望について回答(特養・すずかけ:県高齢者福祉課)
- 3.27 第72回評議員会(第2次補正予算、事業計画、予算、給与規程の改定、契約職員・パートタイム職員就業規則の改定、グループホームすずかけ職員給与規程の改定、育児・介護休業等に関する規則の改定、役員賠償保険変更、理事長専決事項報告)
- 3.28 就業規則変更届提出(熊谷労基署)

特別養護老人ホーム清風苑
(介護老人福祉施設)
((介護予防)短期入所生活介護)

1. 総評

令和3年度目標『利用者への約束』～利用者を主として考えられる職員になる～を意識し、職員の育成と定着を目指しました。6月にショート棟をオープンすることが出来ました。7月12日に職員より新型コロナウイルス発生があり、この間の陽性者は職員3名・利用者4名の内1名が永眠され2名が長期入院となりました。最終的に8月24日まで長期にわたり隔離対応となりご利用者様の生活についてはかなりの負担をかけてしまいました。新型コロナウイルス発生に伴い、ご家族をはじめ関係者の皆様にも不安を与えてしまいましたが、各部署の応援職員や事務職員の物品手配や購入、厨房職員等、様々な職員が色々な形で関わって頂きました。感染拡大を予防する中で特養職員も不安がありましたが、一つのチームとして協力し感染拡大防止に尽力できました。今後の対応として、新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画の作成も法人として行えました。引き続き新型コロナウイルス感染症への感染予防徹底のため、入居者・ショート利用者には体調確認の強化をはじめ、面会や外出行事の制限など長期にわたって不便な生活が続いています。入居者の状態を御家族に伝えたいとの思いから、オンライン面会や窓越し面会を行い看取り面会についても感染予防を行ったうえで継続出来ました。また、写真付きの手紙を毎月送付する事で近況をお知らせし、入居者と御家族の繋がりを少しでも保てるよう応える事が出来ました。このような状況でも、楽しみを持って頂ける様に施設外の散策や四季を感じられる行事、食事の楽しみとして年間を通じて定期的に出前行事を取入れました。その他、集団での誕生会から個々の誕生日にその方に合った記念日を迎えられるよう計画実施する事が出来ました。

令和4年度を迎えるにあたり職員体制を整え、ご利用者を主として考えられる職員育成を主な課題として取り組みます。稼働率向上の重要ポイントとして、長期的な短期入所生活介護利用者を増やす事でスムーズな入所へ移行できるように調整を行っていきます。

2. 各会議・各委員会報告

【事故防止委員会】

事故が起きた後に検証を行う事で様々な視点から事故の分析が出来ました。再発防止策が全体に周知されているかの後追いが不十分であったことは課題となりました。防げる事故・防げない事故(予測していない急な立ち上がり等による転倒)など、その中でどこまで防ぐ努力が出来るかを考え、現状+先読みを意識して日常的に関わっていく必要性を学びました。また、情報を共有する事で再発防止策についての周知をする大切さを学び周知を行う事は活動を通じて取り組む事が出来ました。

【身体拘束適正化委員会】

身体拘束者ゼロの時間帯を作る取り組みとして始めたゼロタイムは、昨年と同様に継続して全部署で取り組めた事で目標は達成出来たと評価しています。

身体拘束者は当初3名(経管栄養によりミトン着用2名搔き壊しを防止するためのミトン着用1名)いましたが、本人状態により1名解除できました。活動として少しでもミトンを着用しない時間帯を設ける事は出来ました。下半期は医療的に必要な対象者2名となっています。排泄・口腔ケア等介助時は随時外す等、こまめに解除する時間を設ける取り組みも継続して行うことが出来ました。本来であれば拘束をしない事が当たり前、少しでも見守れる状況があれば外そうとする意識付けが出来ました。

【苦情解決・虐待防止委員会】

「不適切な言動への気づきの喚起、それに対しての課題抽出と改善を通して虐待を防止する」を目標に挨拶、表情、身だしなみ、態度等に注意し利用者様を支える職員として気持ちをコントロールできるように啓発活動を行ってきました。動画の研修を取り入れ気づきへの喚起も行いました。不適切ケアへの対応は施設全体で取り組む必要性があり、職員一人ひとりが意識を変えチームとして取り組む必要性を学びました。

【ショートステイ】

「在宅生活が維持できるように支援をしていく」を目標に前年度からの課題を引継ぎ「安全・安心・楽しく」が充実できるように活動を行いました。ショート棟のオープンに伴いショート棟で活動する職員は限定的となりましたが、柔軟に対応できる部分もありました。下半期はレクリエーションの充実を図れるよう取り組みが行えました。ショート利用者様が増えた事で情報の共有と対応について次年度への課題も見つかりました。支援に携わる全職員が情報を共有し在宅生活が維持できるように関わっていく必要性を学びました。

【環境委員会】

利用者様が快適に過ごせる安全な環境の提供、職員がスムーズに業務が行える働きやすい環境作り、利用者様への約束を目標に一年間を通じて活動を行いました。各エリアの整頓はもちろんの事、環境作りに気持ちが向けられる様に職員育成にも取り組む事ができました。

【広報委員会】

広報誌の定期発行（清風：年3回）を継続し、施設活動や生活の様子を紹介しました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 令和3. 4. 16 衛生委員会の基礎知識（法人内衛生会議：14名）
- 4. 27 身体拘束廃止①制度と疑似体験・感染予防基礎（施設内研修：28名）
- 5. 17～5. 21 高齢者福祉施設におけるビジネスマナー研修（Web研修：35名）
- 5. 21 熱中症・食中毒の予防について（法人内衛生会議：16名）
- 5. 25 倫理及び法令遵守・喀痰吸引OJT研修（施設内研修：23名）
- 6. 18 職場環境改善『ノー残業』（法人内衛生会議：12名）
- 6. 29 事故防止①『浴室において実地含む』（施設内研修：18名）
- 6. 30 老人福祉施設協議会大里支部会研修会（Zoomによるオンライン研修：3名）
- 7. 16 腰痛予防（法人内衛生会議：13名）
- 8. 20 通勤時の災害防止・感染及び食中毒防止について（法人内衛生会議：11名）
- 9. 17 ストレスチェック（法人内衛生会議：14名）
- 9. 28 救急対応マニュアル・褥瘡予防・対策（施設内研修：19名）
- 10. 19 職場でのコミュニケーション（法人内衛生会議：13名）
- 10. 18 介護施設における安全対策担当者養成研修（Web研修：1名）
- 10. 27 感染予防研修『ノロウイルス感染症』（外部研修：1名）
- 10. 29 高齢者の健康管理（施設内研修：20名）
- 11. 16 感染症の予防について
感染症及び食中毒防止について（法人内衛生会議：12名）
- 12. 21 ターミナルケア・排泄ケア・事故防止『KYT活動』（施設内研修：21名）
- 12. 21 職場環境改善『ワークライフバランス』（法人内衛生会議：12名）
- 令和4. 1. 21 健康診断の結果（法人内衛生会議：11名）
- 2. 14 感染症及び食中毒防止について（法人内衛生会議：14名）
- 2. 22 事業所従事者等向け高齢者虐待防止研修（Web研修：1名）
- 2. 22 高齢者虐待防止『動画視聴』・ノロウイルス感染症（施設内研修：20名）
- 3. 15 危険個所の確認、KY訓練（法人内衛生会議：12名）
- 3. 22 身体拘束廃止②『動画視聴』（施設内研修：18名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	日数
令和3年9/13～令和4年3/12	障害者トライアル雇用	1	130
9/27～10/1	介護体験実習(文教学院大学)	1	5
10/18～10/22	介護体験実習(立正大学)	1	5
11/15～11/19	介護体験実習(法政大学)	1	5
合計		4	145

5. ボランティア活動状況

月	団 体		個 人		合 計		《主要活動団体》 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	0	0	0	0	0	0	
5	0	0	0	0	0	0	
6	0	0	0	0	0	0	
7	0	0	0	0	0	0	
8	0	0	0	0	0	0	
9	0	0	0	0	0	0	
10	0	0	0	0	0	0	
11	0	0	0	0	0	0	
12	0	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	
3	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	

6. 年間行事 () は参加者数

月	内 容
4	春を先取り！桜観賞&写真撮影その後お茶会 (69)
5	開苑記念日 (65) 出前行事〈はま寿司・ほっともっと〉 (49) 日帰り外出〈5/24～5/28〉 (40)
6	出前行事〈甘味〉 (62) 紫陽花のレクリエーション (55)
7	七夕会 (71)
8	夏祭り (68)
9	長寿をお祝いする会 (83) 運動会 (57)
10	饅頭作り (64)
11	焼き芋 (65) 福祉の心を育む懇話会：幡羅小学校 福祉の心を育む懇話会：川本南小学校
12	忘年会 (65) クリスマス会 (74) 餅つき (58)
1	新年会 (66) 書き初め (62)
2	節分 (72) バレンタイン (64)
3	ひなまつり (85) ホワイトデー (63)

7. 業務報告

月	内 容
4	特養会議 事故防止委員会 給食会議 特養運営会議 身体拘束適正化委員会 広報委員会 ショート受入委員会 虐待防止委員会 褥瘡対策委員会 環境委員会 医務会議 喀痰吸引安全対策会議
5	特養会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ショート受入委員会 環境委員会 褥瘡対策委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会 業務改善会議
6	特養会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 広報委員会 総合防災訓練（地域・地震・通報・避難・消火） ショート受入委員会 環境委員会 褥瘡対策委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会 業務改善会議 喀痰吸引安全対策会議
7	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 広報委員会 環境委員会 ケース会議(A・B・C) 入所検討委員会(2回) 褥瘡 対策委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
8	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 褥瘡対策委員会 広報委員会 環境委員会 虐待防止委員会 入所検討委員会 身体拘束適正化委員会
9	特養会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 褥瘡対策委員会 広報委員会 入所検討委員会 環境委員会 ショート受入委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会 BCP訓練
10	特養会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 褥瘡対策委員会 広報委員会 環境委員会 特養運営会議 ショート受入委員会
11	特養会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 身体拘束適正化委員会 褥瘡対策委員会 広報委員会 環境委員会 ケース会議(A) 虐待防止委員会
12	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 広報委員会 総合防災訓練（夜間緊急通報訓練） 入所検討委員会(2回) 褥瘡対策委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会 ケース会議(B・C) 特養会議
1	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 特養会議 褥瘡対策委員会 広報委員会 入所検討委員会 入所検討委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会 業務改善会議
2	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 褥瘡対策委員会 広報委員会 環境委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会 ケース会議(A・B) 特養会議
3	喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 特養会議 褥瘡対策委員会 広報委員会 ケース会議(C) 入所検討委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会

8. 利用者状況 <令和3年度に関する以外は令和4年4月1日現在にて表示>

(1) 利用者定員及び現在員状況 () は再掲：緊急措置入居
定員50名 現在員50名 (男性12名 女性38名)

(2) 利用者年齢別状況 () は再掲：緊急措置入居

年齢	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100 ～ 105	計
男性	1	2	2	1	3	2	0	1	0	12
女性	0	1	4	3	6	4	14	4	2	38
計	1	3	6	4	9	6	14	5	2	50

※最高年齢男性 97歳 8ヶ月 *最若年齢男性 61歳 2ヶ月 *平均年齢男性 77.6歳
女性 103歳 3ヶ月 女性 68歳 5ヶ月 女性 87.3歳
総平均 85.0歳

(3) 利用期間 (令和4年4月1日現在)

利用期間	男	女	計	利用期間	男	女	計
6ヵ月未満	2	5	7	9年～10年未満	1	1	2
6ヵ月～1年未満	3	8	11	10年～11年未満	0	1	1
1年～2年未満	3	11	14	11年～12年未満	0	0	0
2年～3年未満	2	7	9	12年～13年未満	1	0	1
3年～4年未満	0	1	1	13年～15年未満	0	0	0
4年～5年未満	0	1	1	15年～17年未満	0	0	0
5年～6年未満	0	0	0	17年～19年未満	0	0	0
6年～7年未満	0	2	2	19年～21年未満	0	0	0
7年～8年未満	0	1	1				
8年～9年未満	0	0	0	合計	12	38	50

※最短利用期間 1ヵ月間
※最長利用期間 12年 3ヵ月間
※平均利用期間 2年 6ヵ月間

(4) 要介護度 (令和4年4月1日現在) *平均介護度 3.9

要介護区分	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男性	0	0	3	6	3	12
女性	0	1	17	15	5	38
計	0	1	20	21	8	50

(5) 入所申込状況（入所検討委員会）（ ）は見直し

	A	B	C	D	計
令和3年5月25日	1	0	0	0	1
7月2日	1	3	0	0	4
7月20日	5	1	0	0	6
8月31日	2	1	1	0	4
9月28日	1	0	1	0	2
12月7日	1	0	1	0	2
12月28日	1	2	0	0	3
令和4年1月25日	2	2	2	0	6
2月21日	0	0	1	0	1
3月15日	1	3	0	0	4
合 計	15	12	6	0	33
令和4年4月1日待機者	6	10	4	0	20

(6) 月別利用者状況（ ）は再掲：緊急措置入居 年間利用率 95.0%

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日利用者 数(在籍)A	47	50	48	48	46	48	49	50	50	50	49	50	
月中新利用者 数B	3	2	2	2	2	4	3	1	1	1	1	1	23
月中退所者数 C	0	4	2	4	0	4	1	1	1	2	1	0	20
月中入院者数 D	3	2	2	8	6	5	3	3	2	0	0	2	36
月末入院者数 E	2	2	1	5	4	3	2	1	0	0	0	0	20
月末日利用者 (実数)F=A+B-C	50	48	48	46	48	48	50	50	50	49	49	50	
延べ利用者数	1,447	1,460	1,411	1,446	1,320	1,340	1,497	1,465	1,528	1,521	1,378	1,520	17,333

(7) 市町村別入退所者状況 () は再掲：緊急措置入居

市町村	令和3年4月1日～令和4年3月31日						入院・入所・退所状況 ※(HP)…入院中
	男	女	計	入院 延数	入所 者数	退所 者数	
深谷市	6	21	27	90	10	13	(入所) 4/3 4/4 4/17 5/22 8/11 8/17 9/15 10/2 10/8 3/1 (退所) 5/4 5/17 (HP) 6/5 6/15 7/27 7/27 9/19 9/27 (HP) 11/28 12/27 1/14 2/7 (入院) 4/20～5/17 (27) 6/18～7/2 (13) 6/8～6/15 (6)
熊谷市	2	4	6	84	3	1	(入所) 7/2 10/1 1/16 (退所) 1/3 (入院) 2/26～4/9 (41) 7/28～9/10 (43)
寄居町	2	6	8	205	5	4	(入所) 4/6 6/8 9/6 11/30 12/28 (退所) 5/2 7/19(HP) 9/12 10/1(HP) (入院) 7/12～7/19(7) 7/19～11/15(118) 8/10～8/27(15) 8/10～10/1(52) 3/11～3/25(13)
小川町	0	6	6	48	4	1	(入所) 5/31 6/22 7/5 9/21 (退所) 9/3 (入院) 3/26～4/12(16) 8/15～8/23(7) 10/8～10/21(12) 3/8～3/22(13)
東松山市	1	0	1	2	0	1	(退所) 5/20 (入院) 5/18～5/20(2)
上尾市	0	1	1	0	0	0	
飯能市	1	0	1	0	1	0	(入所) 9/15
計	12	38	50	429	23	20	

(8) 利用者の身体状況 (令和4年4月1日現在)

日常生活動作等

介助項目区分	自立	一部	全介	利用者状況						
移動介助	3	10	37	使用機種	車イス 32名、リクライニング 11名、歩行器 1名					
食事介助	32	6	12	食事場所	食堂 46名、居室 4名 (内、経管者 4名)					
排泄介助	3	14	33	おむつ 使用者数	人数	定時	随時			
				常時の者	22	4回	8回以上			
				夜間のみ者	17	1回	4回以上			
入浴介助	2	24	24	使用浴槽	一般浴 3名・器械浴 24名・リフト浴 21名					
着替介助	1	23	24	毎日着替	要介助 1名、自力 0名					
体位交換介助	19	12	19	介助者の 状況	人数	定時	随時			
				褥瘡者	2	11回				
				その他	26	4回				
障害老人の日常生活自立度	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
	1	0	0	6	11	10	16	0	6	

精神状況等

精神項目区分	人数	原因疾患・認知度数						
意思疎通不能者数	6	原因疾患	機能的障害 3名、精神的障害 3名					
認知性老人者数	45	認知症度数	重度 9名、中度 27名、軽度 9名					
知症老人の日常生活自立度	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
	2	3	1	8	21	7	8	0

(9) 常食給与栄養摂取量 (1人平均)

種目	エネルギー kcal	タンパク質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール ug	ビタミン B1 mg	ビタミン B2 mg	ビタミン C mg	塩分 g
1日必要 摂取量	1,541	52.5	34.0	634	6.2	697	1.0	1.1	100	6.7
4月	1,600	54.1	55.0	785	12.3	1,058	2.00	1.24	103	8.5
5月	1,584	53.3	52.9	757	12.5	966	2.16	1.22	93	8.4
6月	1,593	53.2	54.6	751	12.3	1,037	1.18	1.24	112	8.3
7月	1,595	53.8	52.5	776	11.9	994	1.97	1.23	96	8.5
8月	1,595	52.6	53.7	737	12.1	905	2.02	1.20	97	8.5
9月	1,619	54.3	56.2	767	12.1	1,040	2.11	1.27	104	8.3
10月	1,596	53.9	52.9	757	12.3	975	1.91	1.22	101	8.8
11月	1,586	53.2	53.5	735	11.9	980	1.83	1.22	100	8.3
12月	1,601	53.9	54.6	789	12.2	1,013	1.91	1.23	110	8.8
1月	1,571	52.7	51.8	733	12.5	949	1.86	1.21	100	8.5
2月	1,618	54.6	55.0	753	11.8	1,021	1.80	1.24	104	8.2
3月	1,587	52.7	53.0	748	12.1	1,032	1.80	1.23	111	8.7
平均	1,595	53.5	53.8	757	12.2	1,001	1.93	1.23	103	8.5

(10) 短期入所生活介護事業実績：() は予防介護の再掲 * 1日平均利用率 16.7人

区	深谷市		小川町		寄居町		湯前町		小計	
	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数
4	15	117	5	82	3	63	0	0	23	262
5	17	160	6	106	4	74	1	4	28	344
6	18(1)	204(2)	5	88	4	70	0	0	27(1)	362(2)
7	19	241	4	95	4	72	1	5	28	413
8	21(1)	276(2)	4	94	4	78	0	0	29(1)	448(2)
9	21(1)	251(2)	4	74	5	85	0	0	30(1)	410(2)
10	20(1)	195(2)	3	59	7	125	0	0	30(1)	379(2)
11	25(1)	250(2)	4	70	8	146	0	0	37(1)	466(2)
12	24(1)	261(6)	4	79	7	168	0	0	35(1)	508(6)
1	27(1)	323(2)	4	72	6	142	0	0	37(1)	537(2)
2	27	326	4	72	7	84	0	0	38	482
3	23	314	4	75	5	88	0	0	32	477
計	257	2,918	51	966	64	1,195	2	9	374	5,088

区	熊谷市		東松山市		嵐山町		新座市		東秩父村		小計		合計	
	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数
4	1	16	0	0	0	0	0	0	0	0	1	16	24	278
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	344
6	1	17	1	1	0	0	0	0	0	0	2	18	29(1)	380(2)
7	1	31	1	13	0	0	0	0	0	0	2	44	30	457
8	2	54	0	0	0	0	0	0	0	0	2	54	31(1)	502(2)
9	2	60	0	0	1	7	0	0	0	0	3	67	33(1)	477(2)
10	1	10	0	0	1	14	2	12	0	0	4	36	34(1)	415(2)
11	0	0	0	0	1	12	2	60	0	0	3	72	40(1)	538(2)
12	1	26	0	0	1	15	2	53	0	0	4	94	39(1)	602(6)
1	1	15	0	0	1	12	1	31	0	0	3	58	40(1)	595(2)
2	0	0	0	0	1	12	1	28	0	0	2	40	40	522
3	0	0	0	0	1	13	1	31	1	4	3	48	35	525
計	10	229	2	14	7	85	9	215	1	4	29	547	403(7)	5635(18)

深谷市デイサービスセンター清風苑 (介護予防・日常生活支援総合事業) 通所介護)

1. 総評

令和3年度は「個々のニーズを捉え残存機能の維持向上を図り、利用者の在宅生活継続を支援します」の業務目標に基づき、1年間の活動を行いました。

機能訓練においては、4月より階段昇降を導入し、平行棒と組み合わせた下肢筋力の維持向上を図る機能訓練を実施しました。日常生活に段差はつきものですが、これらの機能訓練により転倒リスクの軽減に繋げることが出来ました。

新型コロナウイルス感染拡大による影響により、外出イベント及びボランティアの受け入れを休止せざるを得ない状況でした。このため、少しでも利用者の方に有意義な時間を過ごしていただくために、さくら、菖蒲、バラ、ミント、生姜、みかん、ゆずなどの「季節湯」を多く実施しました。暑い時期は懐かしみながら熱中症予防を図ることができる冷や汁、秋は焼いも大会、冬はクリスマスケーキ作り等、多くの食のイベントを盛り込みました。

運営状況においては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響により、利用自粛者が相次ぐ月も見られたため、結果、稼働率が伸び悩みました。居宅介護支援事業所への営業活動も自粛の期間が長くなり、新規利用者獲得に影響も出ましたが、2月以降、徐々に新規利用依頼が見られました。この他、軽費老人ホーム入居者の利用依頼もあり、積極的な受け入れを行った所、新たな定期利用が見込めたことも収穫でした。

業務状況については、今まで手書きであった看護記録をケア記録管理としました。全ての記録をPC管理することで、引継ぎ等も切れ目なく出来、遡っての検索もスムーズであり、利用者状態の把握に役立てることが出来ました。

令和4年度も、基本的な感染対策を徹底し、利用者が安心して在宅生活を続けられるよう、「楽しみや生きがい」「社会性の保持」「機能の維持向上」に着目し、支援をしてまいります。

2. 各会議・委員会報告

【デイ会議・ケース会議】

原則業務時間内の開催としました。デイ会議では、毎月「行事イベント予定表」をより伝わりやすい内容に改善するため、デザインや掲載内容を工夫し、利用者の楽しみや意欲向上に繋げることができました。

ケース会議は、PDCAサイクルに基づき、作成、実施、モニタリング、評価を適切に実施しました。LIFEで得られたフィードバック情報をプランへ反映しました。

【業務向上委員会】

常に時間を意識し、業務は当日に完結できるよう、職員間で声を掛け合う連携を図り、超過勤務に繋がらないよう徹底しました。ノー残業デイについても、適切に対応することが出来ました。

【安全対策委員会】

年間事故発生件数8件と、前年比マイナス3件でした。内訳は事故は転倒5件、送迎中の事故3件でした。転倒については、骨折に繋がる重大事故はありませんでした。送迎中の事故では、利用者宅レンガやポストへ接触などの器物破損が目立ちました。いずれも軽度の接触で破損に繋がることはなかったですが、車両の適正な停車位置、徐行といった安全確認を徹底し、同様の事故を防いでいます。

【広報委員会】

毎月デイサービスだより白鳥の発行を行ないました。デイサービスの活動が、ご家族や地域の方へより広く伝わるよう継続していきます。2月からはブログ編集に携わり、インターネットを通じて広くデイサービスの情報を発信することが出来ました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 3. 4. 16 倫理・法令に基づく研修（施設内：5名）
- 5. 13 デイサービス部会研修（埼玉県老協：1名）
- 5. 21 プライバシー保護に関する研修（施設内：4名）
- 6. 1 介護サービス事業者集団指導（埼玉県福祉監査課：1名）
- 6. 18 食中毒予防研修（施設内：3名）
- 7. 16 安全運転に関する研修（施設内：6名）
- 9. 17 高齢者虐待防止に関する研修（施設内：4名）
- 9. 23 埼玉県認知症介護基礎研修（埼玉県：1名）
- 9. 30 埼玉県認知症介護基礎研修（埼玉県：1名）
- 10. 15 接遇向上研修（施設内：4名）
- 11. 19 感染症予防研修（施設内：5名）
- 12. 17 身体拘束廃止に関する研修（施設内：4名）
- 4. 1. 21 認知症対応研修（施設内：3名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	日数
4/1～4/10	かなな福祉専門学校	1	7
合 計		1	7

5. ボランティア受け入れ

月	団体		個人		合計		《主要活動団体》 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染予防によりボランティア受け入れを全面休止としたため受け入れ実績なし
5	0	0	0	0	0	0	
6	0	0	0	0	0	0	
7	0	0	0	0	0	0	
8	0	0	0	0	0	0	
9	0	0	0	0	0	0	
10	0	0	0	0	0	0	
11	0	0	0	0	0	0	
12	0	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	
3	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	

6. 年間行事 () は参加者数

月	内 容
4	水ようかん作り (21) どら焼き作り (18) 創作活動：こいのぼり壁画 (40) 次月カレンダー制作 (34)
5	菖蒲風呂1週間 (98) 園芸活動：夏野菜植え2日間 (19) さつま芋植え (21) 調理レク：こいのぼりクレープ作り (21) 牛乳寒天作り (18) 創作活動：カーネーション作り (29) 次月カレンダー制作 (36)
6	園芸活動：じゃがいも収穫 (18) 調理レク：ツナポテト作り2日間 (39) 創作活動：あじさい作り (37) 次月カレンダー制作 (42)
7	夏季限定ドリンクバー 7/15～ 冷や汁フェア6日間 (112) 調理レク：ポテトドーナッツ作り 2日間 (32) 創作活動：次月カレンダー制作 (34)
8	夏季限定ドリンクバー ～8/31 調理レク：アイスクリーム作り (19) ぼたもち作り (16) かき氷3日間 (48) 創作活動：ジャバラすいか作り (30) 次月カレンダー制作 (23)
9	敬老会 計6日間 (111) 調理レク：水ようかん作り (24) 創作活動：桔梗作り (6) 次月カレンダー制作 (26)
10	調理レク：ホットケーキ作り (22) ベビーカステラ作り (24) 園芸活動：さつまいも収穫 利用者 (16) 保育園児 (16) 創作活動：とんぼ作り (6) 次月カレンダー制作 (30)
11	調理レク：さつま芋きんつば作り (18) 季節行事：焼いも大会2日間 (33) 創作活動：クリスマスツリー作り (9) 次月カレンダー制作 (36)
12	師走フェア 6日間 (121) 調理レク：クリスマスケーキ作り2日間 (42) 季節行事：餅つき大会 (21) 創作活動：次月カレンダー制作 (41)
1	季節行事：書き初め5日間 (38) 調理レク：白玉団子でお汁粉作り (21) 創作活動：鬼のお面作り (51) 次月カレンダー制作 (31)
2	季節行事：節分豆まき (19) 調理レク：バンタインチョコ菓子作り (20) 創作活動：鬼のお面作り (9) 次月カレンダー制作 (49)
3	調理レク：桜どら焼き作り (22) 園芸活動：じゃがいも植え2日間 (24) 創作活動：次月カレンダー制作 (43) ひな人形作り (16)

7. 業務報告

月	内 容
4	次月月間活動内容検討 デイサービス会議 ケース会議 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会 科学的介護推進情（L I F E）入力・運用開始
5	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
6	法人総合防災訓練（地震・避難・消火） デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
7	デイサービス会議 ケース会議 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
8	個別ケア活動内容検討 デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
9	B C P総合訓練（地震・避難・初動30分） デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
10	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会 実地指導 デイサービス総合防災訓練（地震・避難・消火）
11	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
12	夜間通報訓練 デイサービス満足度調査実施 デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
1	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会 看護記録ケア記録管理
2	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
3	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会

8. 利用者状況

※令和3年度に関する以外は、令和4年4月1日現在にて表示

(1) 利用者数

登録者 59名 (男性 13名・女性 46名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	～ 59	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100 ～	計
男性	1	0	0	1	3	4	2	1	1	0	13
女性	0	0	0	2	3	7	17	11	5	1	46
計	1	0	0	3	6	11	19	12	6	1	59

(3) 要介護度

平均支援度 1.8 平均介護度 2.3

区分	事業対象	支援Ⅰ	支援Ⅱ	介護Ⅰ	介護Ⅱ	介護Ⅲ	介護Ⅳ	介護Ⅴ	計
男性	0	1	0	8	1	2	1	0	13
女性	1	3	3	22	6	8	7	0	46
計	1	4	3	26	7	10	8	0	59

(4) 利用事由 (重複あり)

	男性	女性	計
日中独居	6	21	27
家庭での入浴困難	10	41	51
独り暮らし	3	7	10
他者との交流	8	38	46
介護者の負担軽減	7	21	28
心身の機能維持	6	28	34
認知症の進行予防	5	25	30
計	45	181	226

(5) サービス開始・終了者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開始	3	1	0	3	1	5	5	1	5	1	2	2	29
終了	1	4	1	1	2	2	3	3	3	2	1	1	24

(6) 月間利用実績

(前期) 4月～9月

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
登録者数	57	55	53	53	54	55	—
延利用者数	536	513	502	511	425	464	2,951
(総合事業)	87	84	85	87	80	88	511
(介護)	449	429	417	424	345	376	2,440
運営日数	26	26	26	27	26	26	157
1日平均利用者数	20.6	19.7	19.3	18.9	16.3	17.8	18.8
昼食提供数	536	513	502	511	425	464	2,951
送迎回数	1,038	1,042	1,030	1,019	860	940	5,929
入浴回数	461	443	438	442	366	403	2,553

(後期) 10月～3月

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
登録者数	59	58	60	60	60	59	—
延利用者数	531	517	523	492	477	528	6,019
(総合事業)	91	87	97	85	62	77	1,010
(介護)	440	430	426	407	415	451	5,009
運営日数	26	26	25	24	24	27	309
1日平均利用者数	20.4	19.9	20.9	20.5	19.9	19.6	19.5
昼食提供数	531	517	523	492	477	528	6,019
送迎回数	1,082	1,061	1,058	1,008	981	1,075	12,194
入浴回数	435	430	441	397	383	416	5,055

(7) 地域別登録者

地区	深谷市	熊谷市	寄居町	小川町	合計
男	8	2	2	1	13
女	42	0	3	1	46
計	50	2	5	2	59

清風苑在宅介護支援センター（居宅介護支援事業者） 深谷市在宅介護支援センター清風苑（在宅介護支援センター）

1. 総評

令和3年度、清風苑在宅介護支援センターは、利用者、家族の状況に合わせて支援業務の進み方、電話での対応、立ち振る舞い等、基本姿勢として寄り添う支援を大切にして訪問時の様子、サービス利用時の様子などを共有して今必要とするものや今後必要とする支援を共に考え利用者への係わり方や基本姿勢を崩さない様に努め適切な支援に繋がるように確認や振り返りを行いました。

新型コロナウイルス対策として玄関先での短時間の訪問やご利用者様やご家族の意向を確認し郵便を使つての送付、電話での確認や利用者との会議においても通常通りの開催ではなく書面での会議参加などに切り替え、利用者への感染対策に注意し利用者・家族の支援に大きく変化はなくサービス利用も継続出来ました。

記録や帳票類の整備の徹底を図るため定期的な確認を行い不備のない様に努めました。

様々なニーズに応えるため、毎週行う会議の他、日頃から事業所内で社会資源等の情報共有を積極的に行う事で、職員間で協力関係を築けるよう努めました。

入院者に対しては、在宅復帰に向けて入院前の生活にできる限り近づけ、安心して過ごせる環境となるよう医療機関や各介護サービス提供事業所と連携を密に行いました。

地域包括支援センター主催の研修会や事例検討会、地域ケア会議に参加して、他事業所との意見交換により、意識や知識の向上と共に情報の共有を深め、より広い視野で課題を把握し支援できるよう努めました。また地域包括支援センターが中心となって行っている地域支え合いの会合に定期的に参加し、地域の方と一緒に住みやすい地区作りを考えて来ました。

介護者教室については感染症予防対策として集団での開催は今年度も実施となりませんでした。が、定期の訪問などを通して個別の対応とさせて頂きました。

2. 業務目標・各会議報告

(1) 業務目標

『相談しやすい環境・体制作り』

①「質が高く気遣いのあるサービス・信頼に繋がる関わりの強化」

利用者宅や関係する事業所への訪問、来苑された際の言葉使いや行動を意識し信頼される関係性の向上・気遣いのあるサービスに繋がるようにマナーを意識して取り組むことが出来ました。利用者宅訪問の連絡・調整する際の話し方や進め方、訪問時の言葉遣いや態度を意識しスムーズな支援に繋がるように取り組むことが出来ました。

②「各利用者・介護者の情報共有と関係の強化」

定期的な利用者情報連携会議によって利用者の状況変化や支援背景、事業者や保険者からの報告を共有でき各担当だけでなくチームとして対応出来ました。主治医との会議を開催し、介護と医療の両面から支える事が出来ました。

③「振り返りによる早期改善の体制作り」

一人で行動することが中心になる為、他のケアマネージャーからの視点を通して気づいた点を話し合い利用者や家族への振舞い、利用者や家族が必要としている事を見つけ支援に繋がられているか話し合うことが出来ました。帳票類の確認も年に4度に実施し帳票類の不備がないように努めました。

④「地域への介護相談・支援の機能としての発信」

介護者教室は残念ながら感染症対策のため行えませんでした。安心して参加・実施できる環境が整い次第開催したいと考えております。地域支え合いの会合については定期的に開催され参加して参りました。会合の中で扱われた健康ライフ教室の準備に係わり地域包括支援センターや地域住民の皆さんと一緒に活動が出来ました。

(2) 各会議

①支援センター会議

運営会議の内容情報共有を行い、支援センターの運営に盛り込む事ができました。

②利用者情報サービス連携会議

各担当の利用者の変化を共有し、支援の進捗状況や地域の事業者など新たな社会資源になるサービスについての共有や、支援上の問題点など無いか確認する事が出来ました。

③主治医との会議

月に1度、主治医とのやり取りで担当している利用者の情報を共有することで、連携を図りながら支援を進める事が出来ました。居宅支援に医療面からの情報を取り入れて、現状のサービスやこれからの支援の進め方に繋げる事が出来ています。

3. 研修・会議の参加状況 (参加日・研修会議名 (主催:参加者))

令和3.7.14 第1回深谷市南部介護支援専門員交流会 (包括ふじさわ苑:3名)

令和3.7.16 認知症研修 (ふくしのまち:3名)

令和3.8.6 介護支援専門員スキルアップ研修 (埼玉県介護支援専門員協会:1名)

令和3.8.6 第1回埼玉県主任介護支援専門員レベルアップ研修

(埼玉県介護支援専門員協会:1名)

令和3.9.14 第2回深谷市南部介護支援専門員交流会 (包括ふじさわ苑:3名)

令和3.10.8 第2回埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修

(埼玉県介護支援専門員協会:1名)

令和3.10.13 介護認定調査員新任研修 (大里広域市町村圏組合:1名)

令和3.12.13 第3回深谷市南部介護支援専門員交流会 (包括ふじさわ苑:3名)

令和3.12.14 第4回埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修

(埼玉県介護支援専門員協会:1名)

令和4.1.24 埼玉県介護支援専門員実務研修実習指導者研修

(埼玉県介護支援専門員協会:1名)

4. 利用者状況

(1) 相談・新規居宅依頼・終了者の状況

(入院者は除く)

月	相談件数	新規・居宅依頼件数	居宅終了件数
4月	0件	1名(男性 0名・女性 1名)	3名
5月	9件	1名(男性 1名・女性 0名)	1名
6月	5件	1名(男性 0名・女性 1名)	1名
7月	1件	1名(男性 1名・女性 0名)	1名
8月	3件	2名(男性 1名・女性 1名)	4名
9月	4件	4名(男性 2名・女性 2名)	4名
10月	9件	7名(男性 5名・女性 2名)	4名
11月	7件	3名(男性 1名・女性 2名)	0名
12月	3件	2名(男性 0名・女性 2名)	3名
1月	4件	5名(男性 3名・女性 2名)	2名
2月	5件	3名(男性 1名・女性 2名)	3名
3月	8件	5名(男性 2名・女性 3名)	2名
合計	58件	35名(男性 17名・女性 18名)	28名

令和4年3月31日現在

(2) 年間居宅請求数

(月遅れ請求者も含む)

	介護給付	予防給付	認定調査
4月	73件	13件	4件
5月	74件	13件	11件
6月	73件	13件	9件
7月	72件	13件	6件
8月	73件	13件	7件
9月	75件	12件	7件
10月	79件	13件	6件
11月	74件	14件	8件
12月	78件	13件	9件
1月	85件	17件	9件
2月	87件	15件	9件
3月	81件	15件	9件
合計	924件	164件	94件

令和4年3月31日現在

(3) 利用者年齢別状況

区分	2号被保険者		1号被保険者								合計
	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	
男性	3	0	5	8	9	12	7	3	1	0	48
女性	0	0	0	2	5	13	11	10	7	2	50
合計	3	0	5	10	14	25	18	13	8	2	98

令和4年3月31日現在

(4) 月別・介護度別利用者数（暫定利用者含む）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援1	3	3	3	2	2	2	3	3	4	5	5	5	40
支援2	10	10	10	11	11	10	10	10	9	12	10	10	123
介護1	18	19	19	18	16	20	21	21	23	23	25	27	250
介護2	22	24	25	23	24	22	22	22	22	21	24	24	275
介護3	21	17	18	20	24	21	23	21	19	17	19	15	235
介護4	6	9	7	7	7	10	10	9	9	16	13	17	120
介護5	7	5	4	4	3	4	3	3	5	8	6	5	57
合計	87	87	86	85	87	89	92	89	91	102	102	103	1,100

令和4年3月31日現在

(5) 介護度別・サービス種別利用者数（一部重複者あり）

区分	訪問 介護	訪問 看護	訪問 入浴	訪問 リハ	通所 介護	通所 リハ	短期 介護	短期 療養	福祉 用具	合計
事業 対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支1	0	0	0	0	4	0	0	0	3	7
支2	2	2	0	0	6	0	0	0	9	19
介1	2	1	1	0	20	0	1	0	12	37
介2	2	3	0	0	13	1	5	0	11	35
介3	1	1	0	0	10	3	5	0	8	28
介4	1	4	1	0	9	1	3	0	7	26
介5	1	2	1	0	1	0	3	0	3	11
合計	9	13	3	0	63	5	17	0	53	163

グループホームすずかけ ((介護予防) 認知症対応型共同生活介護)

1. 総評

令和3年度を振り返り、利用者状況は定期的なモニタリングも継続でき、職員間で利用者への共通理解を深めた支援もできました。

職員環境として、年度途中から、1人の利用者に対し職員2人体制で臨み、職員間でよく話し合い利用者の気持ちや思いを汲み取れるよう考えていく中で、共通理解を深めた支援もできました。これからは、そうした基盤の基で、個々の生活支援の更なる充実に取り組みます。課題となっていた職員間のコミュニケーションも職員同士話し合いを持つ中で解消されて行きました。これからも、ひとつひとつの課題を全職員で共有できるようコミュニケーションを取り、相談しやすい環境作りを行っていきます。

利用状況については、待機者を確保することが難しく、2ヶ月の空床期間となりました。また2名の入院者もみられ、利用率の目標達成には及びませんでした。課題としては、速やかな入所になるよう、サービス事業所や病院等との連携を今まで以上に取ることを目指します。

2. 業務目標・各会議・委員会報告

(1) 業務目標報告

「ひとり一人に合わせた生活支援」

2人担当制にしたことにより、職員同士で話し合い考えて発信して支援していくということが確立してきました。全て、担当を通してものごとを進めることによって、職員が利用者のことをよく考え、生活のあらゆる場面で関わりを持つことが出来ました。精神状況の変化を感じ、理解しようと努めることで、今何が必要なかわかるようになり、利用者との信頼関係も築けてきました。まだまだコロナ禍で生活に制限はありますが、今まで以上に個々の思いをくみ取れるような支援と感染予防を重視して行きます。

(2) 各会議報告

①グループホーム会議

各会議や委員会の報告、事故、ヒヤリハットの振り返りや各ケースを検討しています。就業時間内で会議を行い、一つの会議を数回に分けて職員全員に周知をしてきました。その中で「介護保険制度の基本的理解」「ターミナル研修」「プライバシーの保護研修」「高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修」「認知症に関する基本的理解」「法令遵守・倫理基礎研修」「感染症研修」の勉強会を実施しています。今後も必要なテーマをあげ、知識を深めていきます。

②運営推進会議

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症対策の為、従来通りの会議の開催は行わず、写真入りの書面で日常生活の様子などを伝えています。(大里広域からも承認)

令和4年度は、感染状況をみながら安全な方法で実施していきます。

(3) 各委員会報告

①生活向上委員会

制限された生活の中で大幅な運動能力の低下を防ぐ為、レクリエーションの見直しを図り、毎日必ず30分は体操をして体を動かすことが出来るよう全職員で取り組みました。「目線を合わせよう運動」を継続して発信し、利用者とのコミュニケーションを取ることは基より、生活支援をしていく中で様々な変化を汲み取るよう努めました。課題として、外への散歩やドライブが困難な時期もあり、利用者がストレスを感じている様子もありました。令和4年度は感染予防の徹底を継続しながら、毎日の運動と併せて外への活動にも目を向け、グループホームでの心身ともに健康的な生活が長期的に送れるよう進めていきます。

②身体拘束廃止委員会

毎回、環境や業務の中で身体拘束にあたらぬか、行動抑制になりかねない言動を検討し、各定例会議等で全職員が共通理解し支援にあたるよう啓発しています。定期的な会議や勉強会、随時申し送り等により状況確認しながら取り組んでいます。令和3年度は、一人歩きに危険のある利用者に対し、夜間から早朝にかけて職員一人体制の時にやむを得ない対策として、身体拘束の同意を得ている利用者が1名おり、全職員が同意書を確認し、対策を考えながら、利用者の安全を確保して業務を行っています。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

令和3. 4. 28～5. 14	介護保険制度の基本的理解（施設内研修：9名）
5. 26～6. 3	ターミナル研修（施設内研修：9名）
8. 1～8	プライバシーの保護研修（施設内研修：10名）
9. 1～4	高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修（施設内研修：10名）
9. 26～10. 7	認知症に関する基本的理解（施設内研修：10名）
10. 1～11. 29	認知症介護実践研修（介護労働安定センター：1名）
10. 3	認知症介護基礎研修（埼玉県：1名）
10. 24～11. 9	法令遵守・倫理基礎研修（施設内研修：10名）
10. 27	感染症予防研修会（熊谷保健所：1名）
11. 5	感染症研修（施設内研修：9名）
11. 24～26	認知症対応型サービス事業管理者研修（埼玉県：1名）
令和4. 2. 2～11	高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修（施設内研修：8名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	日数
なし	なし	0	0
合 計		0	0

5. ボランティア受け入れ

	団 体		個 人		合 計	
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数
4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

6. 年間行事 () は参加者数

月	内 容
4	運営推進会議 ※書面にて報告・送付 5/18
5	5/10 ドライブ外出：三ヶ山緑地公園 (4) 5/13 ドライブ外出：三ヶ山緑地公園 (2) 5/30 ドライブ外出：三ヶ山緑地公園 (3)
6	6/13 バーベキュー大会 (14) 6/23 総合防災訓練 (14) 運営推進会議 ※書面にて報告・送付 7月
7	
8	8/28 すずかけ花火大会 (13) 運営推進会議 ※書面にて報告・送付 9/26
9	9/24 敬老会 (13)
10	運営推進会議 ※書面にて報告・送付
11	
12	12/10 忘年会 (15) 12/25 クリスマス会 (15) 運営推進会議 ※書面にて報告・送付 12月
1	
2	2/ 3 節分 (13) 運営推進会議 ※書面にて報告・送付 3月
3	3/8 防災訓練 (14)
該当月	誕生会

7. 業務報告

月	内 容
4	4/6 生活向上委員会 4/23 床ワックス グループホーム会議 ※数回に分けて実施 4/28～5/14 すずかけニュース 87 号発行
5	5/1 すずかけニュース・空床状況送付 5/22 生活向上委員会 5/12 消防設備点検 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 5/26～6/3
6	6/23 防災訓練 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 6/25～6/29 すずかけニュース 88 号発行
7	グループホーム会議 ※数回に分けて実施 8/1～8/8
8	8/14 すずかけニュース・空床状況送付 8/26 床ワックス全箇所 すずかけニュース 89 号発行 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 9/1～9/4
9	グループホーム会議 ※数回に分けて実施 9/26～10/7
10	10/11 入所検討委員会 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 10/24～11/9 10/14 すずかけニュース・空床状況送付 すずかけニュース 90 号発行
11	11/13 消防設備総合点検 11/25 床ワックス グループホーム会議 ※数回に分けて実施 11/23～11/30
12	12/21 すずかけニュース・空床状況送付 12/17 生活向上委員会 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 12/30～1/19 すずかけニュース 91 号発行
1	グループホーム会議 ※数回に分けて実施 2/2～11
2	2/28 生活向上委員会 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 2/24～27 すずかけニュース 92 号発行
3	3/8 防災訓練 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 3/27～29
備考	不定期：居宅介護支援事業所、老健事業所、病院合計 50 ヶ所入居者空床、待機情報案内書、すずかけニュース郵送。

8. 利用者状況 <令和3年度に関する以外は令和4年4月1日現在にて表示>

(1) 利用者定員及び現在員状況

定員9名 現在員9名 (男性3名 女性6名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100 ～104	計
男性	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3
女性	0	0	0	0	2	1	1	2	0	6
計	0	0	1	0	4	1	1	2	0	9

*最高年齢 女性97歳9ヶ月

*最若年齢 男性72歳7ヶ月

*平均年齢 86.7歳

(3) 入所申込状況 (入所検討委員会)

年月	件数	年月	件数
令和3年 4月	0	10月	1
5月	0	11月	0
6月	0	12月	0
7月	0	令和4年 1月	0
8月	0	2月	0
9月	0	3月	0

(4) 利用期間

利用期間	男	女	計
3ヵ月未満	0	0	0
6ヵ月未満	0	1	1
1年未満	0	0	0
2年未満	0	4	4
2年以上	3	1	4
計	3	6	9

(5) 月別利用者状況

年間利用率 97.3%

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日利用者数 (在籍)A	9	9	9	9	9	8	8	9	9	9	9	9	106
月中新利用者数B	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
月中退所者数C	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
月中入院者数D	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
月末入院者数E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末日利用者数 (実数)F=A+B-C	9	9	9	9	8	8	9	9	9	9	9	9	106
延べ利用者数	270	262	270	279	254	240	263	270	279	279	252	279	3,197

(6) 市町村別入退所者状況

市町村	令和4年 4月1日現在			令和3年度			入院・入所・退所状況
	男	女	計	入院 延数	入所 者数	退所 者数	
深谷市	3	6	9	2	1	1	(入) 10/17 (退) 8/16 (院) 5/13~5/31 8/16~8/27
熊谷市	0	0	0	0	0	0	
寄居町	0	0	0	0	0	0	
計	3	6	9	2	1	1	

(7) 利用者の心身状況

【日常生活動作】

介助項目区分	自立	一部介助	全介助
移動介助	4	5	0
食事介助	5	2	2
排泄介助	1	6	2
入浴介助	0	9	0
着替え介助	5	2	2
体位交換介助	9	0	0

【心身状況】

認知症老人の 日常生活自立度	自立	I	II	II a	II b	III	III a	III b	IV	M
	0	1	2	1	4	0	0	0	1	0

(8) 要介護度

*平均介護度 1.7

要介護区分	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男性	0	2	1	0	0	0	3
女性	0	3	1	2	0	0	6
計	0	5	2	2	0	0	9

生計困難者に対する相談支援事業

(彩の国あんしんセーフティネット事業)

1. 総評

令和3年度の支援要請は、計0件でした。新型コロナウイルス感染症による影響で要請なく、食糧支援を年間5回うけ、支援センター関係の困窮者へ配布しております。今後、感染状況の好転により要支援者の力になれるよう支援活動に努めます。

また、買い物送迎支援の計画実施も新型コロナウイルス感染症による影響で停止している状況ですが、再開に向け協力していきます。同時に感染予防を徹底しながら慎重に活動していきます。

2. 相談状況 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(1) 年齢構成・相談件数

年 齢	人 数
20～30 歳代	0
40～50 歳代	0
60～70 歳代	0
80 歳～	0
合 計	0

(2) 紹介経路

紹 介 先	人 数
行政・社協・市町村	0
地域包括・医療・福祉施設・	0
民生委員・知人	0
本人	0
合 計	0

(3) 相談内容の主な特徴 (重複あり)

特 徴	人 数
高齢	0
失業	0
児童	0
母子・寡婦	0
身体・知的・精神障害	0
DV・虐待	0
多重債務	0
傷病	0
その他	0

(4) 現物給付の主な内容 (重複あり)

内 容	人 数
食材	0
光熱水費	0
居住関係	0
日用品費	0
交通費	0
医療費	0
介護サービス	0
その他	0

3. 研修・会議の参加状況 (参加日・研修会議名 (主催：参加者))

研修参加 0 件

事 務

1. 総評

基幹的業務である法人事務、財務会計処理、職員給与計算、職員福利厚生や介護保険制度改正等の手続きを柱に取組みを行ないました。具体的には事業報告3ページの令和3年度の主な庶務事項となっています。今後も会計処理を迅速かつ正確に示すと共に事務部門の効率化と各事業所の円滑な事業運営に貢献してまいります。

2. 業務目標

- ・ショートステイ増床の開所と安定した経営をします。
- ・会計担当と庶務担当の確実な移行を行う。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

3. 5. 17 埼玉県老人福祉施設協議会大里支部会(オンライン) (県老施協：1名)
6. 1 介護施設における安全対策担当者養成研修(オンライン) (全国老施協：1名)
6. 30 埼玉県老人福祉施設協議会大里支部会(新型コロナウイルス) (オンライン)
(県老施協：1名)
8. 6 令和3年度社会福祉法人役員・管理者研修(オンライン) (県経営協：1名)
9. 10 埼玉県老人福祉施設協議会(新型コロナウイルス感染予防) (オンライン)
(県老施協：1名)
9. 22 経営セミナー「やる気と生きがいのある介護施設の作り方」(オンライン)
(埼玉県：1名)
10. 29 高齢者施設における感染症研修会(オンライン) (東京保健所：1名)
11. 2 令和3年度養介護施設従事者等における高齢者虐待の防止について(オンライン)
(埼玉県：1名)
11. 3 経営者セミナー～ICT活用で抑えるべきポイント(オンライン)
(埼玉県：1名)
11. 4 埼玉県老人福祉施設協議会大里支部会(オンライン) (県老施協：1名)
12. 9 全国老施協トップセミナー(オンライン) (全国老施協：1名)
4. 1. 24 令和3年度 第1回経営協セミナー(オンライン) (県経営協：1名)
2. 24 第2回経営協セミナー(オンライン) (県経営協：1名)
2. 25 「臨時総会」「第2回施設長会議」 (オンライン) (県老施協：1名)

給食

1. 総評

給食では令和3年度事業計画として①安心・安全、②発展、③職員研修、④連携と4つの業務目標について取り組みました。

① 「安心・安全」

誤嚥・窒息しない安全な食事を提供するために食形態の写真を使用し、食形態の統一を行いました。また、トロミに関しても他職種と共同で共通の基準を作成しました。

厨房内の衛生管理が充実するように備品の確認や使用している機器などの確認をしました。

検査対象の職員の数を増やし、提供している食事に対する意見を今までよりも幅広い範囲から聞く様に変更しました。

② 「発展」

おやつレクの開催もコロナ過における生活では楽しく過ごすための大きな役割を担いました。多職種と協力し合い、おいしく！楽しく！良い時間となりました。

ソフト食に使えるような食材があった場合には試作を行い、導入の検討をしました。今年パンの提供時にパン粥の提供などの新しい試みも開始する事ができました。

③ 「職員研修」

コロナウイルスの影響により、オンライン研修に参加し、新しい情報を学ぶことができました。

施設内の感染予防研修を感染予防への対策の徹底と意識付けとなるよう実施しました。

④ 「連携」

嗜好調査による利用者からの生の声や検査簿を通して、幅広く職員からの意見を活かし日清医療食品との連携により、メニューや味付け、彩りなど、常に改善意識をもって、食事提供に努めました。

また、グループホームやデイサービスとの連携により、各部署の食事がおいしく、安全で健康的な生活維持に繋がるよう連携に努めました。

2. 業務内容

月	基 幹 業 務 内 容	調 査	会 議
4	利用者年齢構成表作成 納入業者の衛生教育及び食品搬入検査	残食調査	給食会議
5	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
6	食中毒予防強化 厨房内特別個所掃除及び機会器具の点検	温度湿度調査	〃
7	夏期利用者帰省の確認	嗜好調査	〃
8	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
9	行事食献立内容の研究	残食調査	〃
10	利用者年齢構成表確認	残食調査	〃
11	ノロウイルス、インフルエンザ感染症対策強化	残食調査	〃
12	年末年始利用者帰省の確認 納入業者年末年始休業確認	残食調査	〃
1	厨房内特別個所掃除及び機械器具の点検	温度調査	〃
2	厨房周りの環境美化	嗜好調査	〃
3	食糧構成の検討・新年度業務計画の作成	残食調査	〃

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

0 件